

平成16年4月14日

報道機関 各位

情報化推進部情報企画課長
河野 登

広島大学バイオベンチャー企業 株式公開向け4億円の資金調達を実施

広島大学発のバイオベンチャー企業『株式会社フェニックスバイオ』（所在地：東広島市 広島大学産学連携センター インキュベーションオフィス内）は、このたび第三者割当増資により、4億円の資金調達を実施しました。

同社は2003年3月に、本学の吉里勝利教授（副学長理事、大学院理学研究科 教授）が率いる広島県組織再生プロジェクトの成果である、ヒト肝細胞を有するマウスの医薬品開発への利用と、培養細胞による毛髪再生療法の実用化を目指して設立したバイオベンチャー企業です。

なお、同社では、この資金を活用して事業化のスピードを上げ、2年後の2006年の株式公開を目指しておりますのでお知らせいたします。

事業の概要等、詳細については別紙をご覧ください。

【お問い合わせ先】

株式会社フェニックスバイオ
広島県東広島市鏡山3-10-31
広島大学産学連携センター インキュベーションオフィス
取締役副社長 島田 卓

TEL: (082) 431-0016

FAX: (082) 431-0017

E-mail: tshimada@phoenixbio.co.jp

[発信枚数; A4版 3枚(本票含む)]

[○会社概要等](#)

PRESS RELEASE

2004年4月14日
株式会社フェニックスバイオ

《株式会社フェニックスバイオが4億円のファイナンス》

広島大学発バイオベンチャーである株式会社フェニックスバイオは2004年4月、第三者割当増資により4億円の資金調達を実施した。引受先は、安田企業投資株式会社、ひろぎんキャピタル株式会社、ごうぎんキャピタル株式会社、いよぎんキャピタル株式会社など。

この資金を設備投資、運転資金として活用して事業化のスピードを上げ、2年後の2006年3月期を基準期として株式公開することを目指す。

当社は(1)ヒト肝細胞をもつキメラマウスを利用した医薬品開発の受託試験事業、(2)培養毛乳頭細胞の自家移植による毛髪再生療法の細胞培養受託事業、の2つの事業を柱としている。概要は以下の通り。

(1)ヒト肝細胞をもつキメラマウス

肝臓の80%をヒトの肝細胞に置換したマウス(キメラマウス)を医薬品の研究開発に利用することにより、キメラマウスが医薬品候補化合物のヒトにおける薬物動態を予測するモデル動物となる。また、臨床での薬剤性肝障害(肝毒性)を予測できる可能性が考えられる。医薬品開発では、前臨床試験で得られたラットやイヌなどの動物でのデータから、ヒトにおける薬物動態や肝毒性を十分に予測することができないことから、臨床試験で開発中止になるケースが多い。ヒトでのデータで予測できる可能性があるキメラマウスは、研究開発の効率化や研究期間の短縮に貢献すると期待され、創薬研究における全く新しいADME/Tox(吸収、分布、代謝、排泄/毒性)開発ツールとして製薬会社から高い関心が寄せられている。当社では、2004年度から、国内外の製薬企業からキメラマウスにおける薬物動態試験の受託サービスを開始する。

(2)毛髪再生療法

毛根が弱って薬による治療が不可能となった脱毛症患者に、細胞移植による再生治療を行うことを目的としている。形成外科医との共同研究により、毛包を作る能力があることが知られている毛乳頭細胞を患者の残毛部位から採取し、培養して1,000~10,000倍に増やしたのち、脱毛部位に自然移植する治療法の開発を行っている。男性型脱毛症や円形脱毛症などの再建治療における細胞培養受託サービスについて、2007年の事業化を目指している。

【会社概要】

社名： 株式会社フェニックスバイオ

代表者： 代表取締役社長 中村徹雄
所在地： 広島県東広島市鏡山3丁目10番31号
 広島大学産学連携センター インキュベーションオフィス
連絡先： TEL 082-431-0016, FAX 082-431-0017
メール： info@phoenixbio.co.jp
URL： <http://phoenixbio.co.jp>
主要株主： 株式会社特殊免疫研究所、中外テクノス株式会社、安田企
 業投資株式会社
資本金： 290百万円
決算期： 3月
設立年月： 2003年3月
社員： 20名
特徴： 広島大学、吉里勝利氏が率いる広島県組織再生プロジェクト(独立行政法人科学技術振興機構、地域結集型共同研究事業、平成9年11月～平成14年11月)の成果である。ヒト肝細胞を有するマウスの医薬品開発への利用と培養細胞による毛髪再生療法の実用化を目的として設立された広島大学発ベンチャー

【関係者紹介】

吉里勝利
広島大学副学長、広島大学理学研究科教授
専門：発生学、生化学 特に肝臓や皮膚などの組織の再生に関して研究
成果多数

以上